

Rotary  
第2820地区



2024-2025年度 国際ロータリー第2820地区

# 地区チーム研修セミナー



国際ロータリー2024-2025年度  
会長 ステファニー A. アーチック  
日 時：2024年3月3日(日)  
場 所：ホテル テラス ザ スクエア 日立  
ホスト：高萩ロータリークラブ

ガバナー 大久保博之  
ガバナーエレクト 大高 司郎  
地区ラーニングファシリテーター 大野 治夫

Rotary International District 2820





## R. I. 会長メッセージ

2024-25 年度

国際ロータリー会長

**ステファニー A. アーチック**

(McMurray RC・米国)

ロータリーファミリーの皆さま、こんにちは。魅力あふれるチーム(the Irresistibles)である 2024-25 年度地区ガバナーの皆さまに向けてお話しでき光栄です。私が皆さまを「マイファミリー」(私の家族)と呼ぶとき、単に親切心からそうしているわけではありません。本当に、皆さまを家族同様に思っています。

今日は、ロータリーファミリーのとても大切なメンバーたちに特別なスポットライトを当てることから始めたいと思います。数週間後に私は、素晴らしいヘルスワーカーの女性たちとお会いするためにパキスタンを訪れます。

ポリオをあらゆる場所から根絶することは、パキスタン全土でこの難しい仕事を一つずつこなすことを意味します。それは、困難で、時には危険な仕事です。女性たちは、文字通り、山を登って人里離れた場所で子どもたちに予防接種をしますが、それは困難さの半分にも及びません。彼女たちは、誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。

皆さまの多くはこれらのワーカーと決して会うことはないでしょう。でも、皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。現地で彼女たちとシェアできるよう、ぜひ総立ちの拍手を送ってください…。カメラの準備をしますので、ちょっとお待ちください。

大きな拍手に加えて、これらのヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。クラブまたは地区のポリオプラス・ソサエティへの参加や設立は、今からでも遅くありません。私たちの寄付に対しては、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が引き続き 2 倍額を上乗せしますが、年次募金目標である 5,000 万ドルを私たちが達成することが条件となります。

認識向上を促すには、地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります。

ありがたいことに、活動をやすくし、クラブでの体験を魅力的なものとするために、ロータリーの行動計画があります。そこからロータリーのマジック(魔法)が始まります。分断された世界を癒すには、そのマジックが必要です。世界の武力紛争と避難民の数は、驚くほどのスピードで増加しています。ポジティブなインパクトをもたらしたければ、私たちがベストを尽くす必要があります。

これは、組織としての私たち自身について、いくつかの変更を加える必要があるかもしれないことを意味します。変化に対して不安を感じるかもしれませんが、私たちが共に変化すればそれも和らぎます。

そのことを念頭に、クラブがよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるよう、皆さま全員に行動計画の推進者となっていただくようお願いいたします。行動計画には継続の余地が十分にあります。この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくも

のです。

行動計画は、地区内のクラブでの体験をよりよくするのに役立つ手段であると考えてください。皆さまには影響力があることを忘れないでください。クラブを設立するのは地区ガバナーです。皆さまは、クラブのリーダーが創造的に考え、既存会員と将来の会員のために魅力的な体験を生み出せるよう後押しできます。これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去 50 年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。行動計画は、クラブの強みと弱み、改善点を特定する上で役立つものです。

地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブ会員が何を望んでいるのかを尋ね、地域社会のニーズとの橋渡しをしましょう。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。地区ガバナーである皆さまには、向上する力をクラブ会員に与える素晴らしい機会があります。

地区内のクラブ会員と連絡を取り、クラブでの体験はどうか、クラブをよりよくするために何ができるかを尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。その人たちはロータリーのことを知らないのかもしれませんが。あるいは、地元クラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。

心からクラブへの帰属意識を持たずにいる会員がいることにも気づくかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。

奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても、DEI を受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注ぐことで、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

しかし、活動はそこで終わるわけではありません。私たちがクラブについて人びとに伝えなければ、クラブが魅力的であると誰も知ることはありません。事実、この困難の時代に前向きなイメージを広げ、積極的平和を広げるには、ストーリーテラー(語り部)が必要とされます。

平和構築は私の最優先事項の一つであり、この国際協議会は地区ガバナーとなるための準備以上のものです。ロータリーの平和構築プログラムとイニシアチブを支援するための行動喚起のときなのです。

そのようなプログラムの一つに、ロータリー平和フェロウシップがあります。これは、平和と開発の専門家が紛争の終結と防止に取り組むのを支援するために、20 年以上前に始まったロータリー財団のプログラムです。

私たちは、世界各地の名門大学にあるロータリー平和センターで学ぶためのフェロウシップを提供します。これまでに 1,800 人以上の平和フェロウがロータリー平和センターを卒業し、よりよい世界を築くために現在 140 カ国以上で活躍しています。

また、オットー&フラン・ウォルター財団(Otto and Fran Walter Foundation)からの 1,550 万ドルのご寄付のおかげで、トルコのイスタンブールにあるパーチェシエヒル大学に設置される平和センターで、もっと多くの地域の平和構築者を引き続き支援できます。

第一期生たちは 2025 年初旬にイスタンブールに到着します。これを記念し、ロータリー会員、ロータリー平和フェロウ、積極的平和アクティベーターなどの人たちが、2025 年 2 月に予定されているロータリー会長平和会議に集います。

この会議のテーマは、「分断された世界を癒す」です（もうすぐ発表する年次テーマではありません）。この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります。

平和会議についての詳細は、シンガポールで開催される国際大会で伝えられます。現地で皆さまにお会いするのが待ちきれません。

それまでの間、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。地域社会で平和への希望を広めたいという会員は、地元の公園や遊び場、人びとが集う場所にピースポールを設置できます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。

ロータリー会員が平和構築活動を支援する方法はたくさんありますが、今日、覚えておいていただきたいことが一つあります。それは、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならないということです。

思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは、他者を助けることに喜びを見出しますが、バランスを取るという難題にも直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

私のテーマの色としてオレンジとスカイブルーを選んだのは、このためです。オレンジは、秋の主な色として、季節の移り変わり、つまり、一つの段階の終わりりと別の段階の始まりを表しています。実際、オレンジ色は変化を表す主な色です。

一方、青は、知識と知性、つまり信頼性と忠誠を連想させます。青は、オープンなコミュニケーションへの意欲を与えます。これらの色の組み合わせは、自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しています。

ということで、前置きが長すぎました。2024-25年度のテーマを聞く準備はできていますか？

では、テーマをお教えしますが、その前にある逸話を簡単にご紹介します。

数年前、私はドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。その水の流れを最初に止めた時のことを、私は決して忘れません。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。

もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです。

このため、私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」です。

誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。

それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです。

皆さまの地域のクラブを突き動かすものが何であれ、「ロータリーのマジック」がそれを促進します。ロータリーファミリーに新会員を加えることで、「ロータリーのマジック」を広げることができます。女性と女性の力を解き放つことで、「ロータリーのマジック」を解き放つことができます。世界に変化をもたらすための資金を募ることで、「ロータリーのマジック」を前進させることができます。

ロータリー会長、そして地区ガバナーとしての私たちの1年が終わるとき、このマジックが続いていくようにする準備ができている人が大勢いるかどうかは、私たち次第です。

私はロータリーファミリーを愛しています。この会場でその愛を感じることができます。だからこそ、皆さまには地区のすべてのクラブを魅力的にする力があると知っています。

この国際協議会は永遠に続くわけではありませんから、どんなに小さな瞬間も最大限に活用してください。束の間のつながりが生涯の友情につながるかもしれません。学んだシンプルなことが、皆さまのロータリー人生を変えるかもしれません。そのような機会を見逃さないでください。

家に帰ったら、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。



2024-25年度国際ロータリー会長  
ステファニー A. アーチック



## 地区チーム研修セミナー (District Team Training Seminar) によせて

2023-24 年度

国際ロータリー第 2820 地区

ガバナー **大久保 博之** (水戸 RC)

ロータリークラブ史上二人目である、女性の国際ロータリー会長 24-25 年度ステファニー A. アーチック女史は次年度

### ① 平和の構築

### ② 今までの奉仕の行動計画を推進させる

### ③ ポリオ根絶の実現

をロータリーマジック (The Magic of Rotary) で起こしていこうと訴えておられます。これを受けて大高ガバナーエレクトは「Be the inspiration」“元気な一歩、ともに成長するクラブの力”というスローガンのもと、14 の行動目標を掲げられました。

本日ガバナーエレクトより縷々お話があることと思いますので私からは触れませんが、次年度は変革期のロータリークラブにとって極めて重要でエポックメイキングな取り組みになると思います。

大高ガバナーエレクトはこれまでもロータリーの運動に極めて正統派のアプローチをされ、実践されてきました。そして次年度はロータリーのオーソドックスな運動に新しい知見を加えて新たな扉を開こうとされています。

戦争、紛争、災害や疾病、変化の渦巻く 24 年ですが必ずや 7 月からこの取り組みが、今日ここに集った同志の皆様方とともに達成できることを信じてやみません。

皆様のエンパワーメントをお願い申し上げます。



## 地区チーム研修セミナーに寄せて

2024-25 年度

国際ロータリー第 2820 地区

地区ラーニングファシリテーター

**大野 治夫** (つくば学園 RC)

いよいよ 2024-25 年度大高年度のスタートとなる地区チーム研修セミナー (DTTS) が行われます。この研修は、地区のリーダーがステファニー A. アーチック国際ロータリー会長のテーマ THE MAGIC OF ROTARY (ロータリーのマジック) の基、

1. 平和構築(平和と開発専門家が紛争の終結と防止に取り組むことを支援する)
2. 行動、計画を前進させる(今まで地区が同じ方法で物事を行ってきたことを見直す)
3. ポリオ根絶実現(ポリオ根絶には、認識向上と資金調達が必要)

の方針を受けて、大高年度は BE THE INSPIRATION “元気な一歩、共に成長するクラブの力”としており、クラブが活気に満ち共感を呼び起こし、クラブメンバーが協力して成長していきましょうとしております。

ロータリーを成長させるには、現会員の維持はもちろん新しい仲間の拡大が大変重要な課題だと思えますし、クラブ内の居心地が良く、積極的に意見を述べ、そして地区にも出ていくような会員に成長してもらうことを願っております。大高年度の地区目標は 14 もあり、かなり高いハードルとなっているかと思えます。その中で平和はもちろんですが、公共イメージを向上させ、会員の維持と増強、そしてロータリー賞へのチャレンジに努力していただければと思います。

地区研修委員会も地区ラーニング委員会、地区研修リーダーも地区ラーニングファシリテーターとなります。今までの Training (講義・講演) から Learning (参加・自己学習型) に変わります。今までの講義型では、数%しか頭に残らなかったが、討論や人に教えるとなると、50 ~ 90% が頭に残っているという統計があります。人に教わるのではなく、自分自身が気づくこと教えてもらった事は他人事ですが、自分自身で気づいた事は身に付くと言うことです。世界各地に RLI という委員会がありますが、その成果が上がっていないので、今回 Learning としたのではないかと私は思います。当地区も RLI 委員会があり、年に何度か委員会を行っておりますが、何の効果・進展も得られない状況にあるのかと思えます。RLI を何度開催しても委員メンバーの中から、日本の理事はもちろん研修リーダー・コーディネーターなどの役職に就く人が出ないことが問題ではないかと思っております。ただ行うのではなく、そういう人材を育てるために行うのではないのでしょうか。今後、各委員会・総括委員長の皆様も開催時においては内容を説明し、5, 6 人のグループにし、講義ではなく討論形式で行い、一人ひとりのメンバーに必ず発表させ意見を述べさせることをお願いいたします。

最後に皆様のご活躍とご健勝はもちろんですが、当第 2820 地区からも日本のリーダーとなる人が出ることを切に願っております。





## 地区チーム研修セミナーに寄せて

2023-24 年度

国際ロータリー第 2820 地区

ガバナーエレクト **大 高 司 郎** (高萩 RC)

本セミナーを皮切りに、いよいよ 2024-25 年度ガバナーとしての公式行事が始まります。

本日は、大久保博之ガバナー、大野治夫地区ラーニングファシリテーター、地区ラーニング委員各位、パストガバナー各位、そしてガバナー補佐、総括委員長、並びに地区委員の皆さまには、ご多用中にも拘らず、地区チーム研修セミナーにご出席下さいまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

このセミナーは、次年度のガバナー補佐および総括委員長や地区委員が就任前に新たなステージに向け準備を整え、更なる成長を遂げる場です。そして同時に、地区リーダーシップチームがクラブをサポートする使命へのモチベーションを共有し、高めていく貴重な機会となります。

私は 1 月 7 日から 5 日間、米国オーランドで開催された国際協議会に参加してきました。国際協議会は、ガバナー就任に向けた最後の仕上げとなるラーニングの機会です。

ステファニー A. アーチック RI 会長エレクトは 8 日、午前の本会議で 2024-25 年度 RI テーマは「ロータリーのマジック」と高らかに発表しました。これに呼応して会場はヒートアップし大きな拍手でテーマを歓迎しました。初めての体験、まさに国際協議会最高のハイライトがここに集約された感じでした。

テーマ誕生のいきさつについて彼女はこのように述べています。McMurray ロータリークラブの一員としてドミニカ共和国での浄水器設置活動に参加し、その経験からロータリーのマジックを目の当たりにした少年たちが浄水器の設置に驚き、安全な水の変化を「魔法 (マジック)」として捉えていたエピソードを説明。ロータリーが人々の生活を変える力を認識したとし、ロータリーの人道的な活動を拡大するよう呼びかけました。そして、テーマ色の「オレンジ&スカイブルー」選定の理由として、オレンジは、秋の主な色として、季節の移り変わり、つまり、一つの段階の終わりとは別の段階の始まりを表している。実際、オレンジ色は変化を表す主な色。青は、知識と知性、つまり信頼性と忠誠を連想させる。青は、オープンなコミュニケーションへの意欲を与える。これらの色の組み合わせは、自分自身を変え、世界を変えながら、共に前進したいという熱い思いを表していると説明されました。

### 2024-25 年度国際ロータリー

#### ステファニー A. アーチック会長テーマ

(マクマリーロータリークラブ 米国ペンシルバニア州)

### ロータリーのマジック

## THE MAGIC OF ROTARY

## 2024-25 年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

### ロータリーのビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

ロータリーの新しいビジョン実現に向け、新たな行動計画の土台となる4つの優先事項が定められました。

#### 優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025年までに20億2,500万ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

#### 優先事項2 「参加者の基盤を広げる」の目標

1. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
2. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
3. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
4. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

#### 優先事項3 「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

1. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
2. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
3. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

#### 優先項目4 「適応力を高める」の目標

1. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
2. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

国際ロータリー第2820地区 2024-25年度

#### 【スローガン】

**BE THE INSPIRATION**

“ 元気な一歩、共に成長するクラブの力 ”

## 【地区数値目標】

- ① 会員数（ロータリアン・ローターアクター）～ 会員基盤の向上 ～  
地区 2,000名  
・ロータリークラブ 純増 2名  
・ローターアクトクラブ 純増 1名
- ② ロータリー財団寄付 ～ 世界でよいことをしよう ～  
1. 年次基金寄付 150ドル/人  
2. ポリオ・プラス基金 30ドル/人  
3. 恒久基金(ベネファクター) クラブ一人以上  
4. ポリオ・プラス・ソサエティ(PPS)会員 クラブ一人以上  
5. ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)会員 地区100人以上維持
- ③ 米山記念奨学会 ～ 米山奨学生・学友の育成、支援のために ～  
会員一人当たり25,000円（普通寄付5,000円、特別寄付20,000円）
- ④ My ROTARY 会員登録 75% ～ 活動に欠かせない情報源 ～

## 【地区行動目標】

- ① DEI(Diversity 多様性 Equity 公平性 Inclusion インクルージョン)の促進  
(1)多様性:全てに門戸を開放する  
(2)公平性:誰もが公平で大切にされる  
(3)インクルージョン:多様性を受け入れ、互いに認め合い、皆が活躍できる  
このような環境であるかを常に認識し、DEI を推進してください。
- ② 平和の推進者になる  
ロータリー平和センターの支援。平和構築手段の一つ「四つのテスト」を実践する。
- ③ ロータリー賞(クラブ優秀賞)へのチャレンジ  
ロータリー賞は、その年のクラブの優れた業績や功績を表彰します。目標には会員増強・維持、持続可能なプロジェクトの立案、財団の寄付、地域社会での奉仕活動や公共イメージ向上等が含まれています。分区の推進者はガバナー補佐、地区は目標達成を支援します。  
目標:全ロータリークラブ、ローターアクトクラブの受賞。
- ④ 会員維持率の向上と増強  
クラブに DEI を取り入れ強化し会員維持力を高めましょう。会員増強は最大の課題、「仲間を増やし共に成長しよう」。待っていても、入会希望者は現れません。全会員が協力し、クラブを活性化しましょう。7月から10月までの4か月間を会員増強強化期間とし、11月の地区大会で表彰いたします。

⑤ ポリオ根絶のためのプロジェクト

ポリオ根絶はロータリーの最優先事項です。ポリオ根絶 99.9%、残り 0.1%の実現まであと一歩。当年度はエンドポリオに重点を置き、ここに精力を集中させたいと考えます。2024 年世界ポリオデーに共に行動しましょう。青少年奉仕委員会を中心にエンドポリオをテーマとする「奉仕プロジェクト」を企画します。全クラブの参加をお願いします。

⑥ 公共イメージの向上

公共イメージ委員会とIT委員会を統合、「公共イメージ・ICT(情報通信技術: Information and Communication Technology)推進委員会」とします。積極的に活動しロータリーの認知度向上に努めましょう。ロータリー活動に貢献できるようなデジタル化を推進します。正しいロータリーロゴの使用。

⑦ 青少年育成事業の推進

未来を担うリーダーの育成につとめましょう。インターアクト、青少年奉仕、RYLA、青少年交換への支援および協力を強化しましょう。

⑧ ローターアクトクラブの活性化

今年度から青少年奉仕委員会から独立、ガバナー直轄委員会とします。クラブの活性化を図ります。将来のヤングロータリアンとしてのローターアクトとの交流を深めましょう。クラブ財団寄付目標を 100 ドル(寄付分類は問わない)とします。RAC 合同ガバナー公式訪問を実施します。

⑨ 地区研修委員会が地区ラーニング委員会に

研修モデルからラーニングモデルの変更について。地区研修リーダーは地区ラーニングファシリテーターに、クラブ研修リーダーはクラブ・ラーニングファシリテーターとなります。会員自らが積極的にラーニング(学び)を関与しましょう。クラブにラーニングファシリテーターの任命を奨励します。

⑩ My ROTARY(マイロータリー)の登録推進

各種手続きや記録の確認がオンライン上で行えるのみならず、様々なロータリー情報に触れ、研修の機会も得ることができ、活動に欠かせない情報源です。ラーニングセンターには基本的な情報を学べる豊富なコースや学習プランが含まれています。

My ROTARY を活用しましょう。

⑪ RLI への積極的参加

RLI (Rotary Leadership Institute) は、ロータリーにおける最大の草の根の指導力育成プログラムです。一人でも多くのメンバーがロータリー活動に理解を深め、活力あるクラブ創生に力を出せるよう参加推進をお願いします。特に会長は率先して参加してください。

⑫ メークアップの奨励

クラブ間交流を深め、情報交換をし、他クラブの雰囲気を経験し、他クラブにおける見習う点を自クラブに取り入れましょう。他クラブの活動を垣間見ること必要、名刺交換から交流が始まります。まずは近隣クラブのメークアップから始め、クラブでの体験を魅力的なものにしましょう。

⑬ ロータリー希望の風奨学金への支援を継続

東日本大震災により災害遺児となった青少年への教育支援の輪を広げましょう。大久保年度を引継ぎ、公式訪問に例会で一人 1000 円の寄付を任意でお願いいたします。

⑭ 国際大会(カルガリー)へ参加しましょう

ロータリー最大のイベントで、世界中から集うロータリアンと友情と親睦を深め一生の思い出をつくりましょう。カルガリー(カナダ)国際大会は 2025 年 6 月 21 日(土)～ 25 日に開かれます。皆さまの参加をお待ちしています。



## 地区チーム研修セミナー歓迎のご挨拶

国際ロータリー第 2820 地区  
地区チーム研修セミナー実行委員長  
**江 尻 寛** (高萩 RC)

第 2820 地区次年度 地区役員、委員にご就任の皆様、地区チーム研修セミナーにご参加いただき誠にありがとうございます。そして、ガバナー大久保博之様、パストガバナーの皆様、地区ラーニングファシリテーター大野治夫様のご臨席を賜り開催できますことに心から感謝申し上げます。

本日のセミナーは、大高司郎ガバナーエレクトが国際協議会において研修し、次年度国際ロータリー会長ステファニー A. アーチック氏のテーマ、「ロータリーのマジック」を基にした、地区スローガン、地区目標を発表する場となり、また、皆様には、それぞれの立場からリーダーとして支援していくための研修の場であります。地区活動に繋がる有意義なセミナーとなりますようご祈念申し上げます。

私共ホストクラブは、大高ガバナー年度が実り大きなものになりますよう、第 1 分区全クラブのご支援、ご協力いただき支えてまいります。皆様におかれましてもご支援ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 歓迎のご挨拶

国際ロータリー第 2820 地区  
ホストクラブ会長  
**小谷松 政紀** (高萩 RC)

国際ロータリー第 2820 地区の輝く伝統を築いてくださいましたパストガバナー諮問委員の皆様、地区ラーニングファシリテーター大野治夫様、ガバナー大久保博之様、そして、地区役員、委員の皆様、大高年度に向けて重要な DTTS にご参集いただき、ホストクラブを代表し、心から歓迎と御礼を申し上げます。

私はロータリーに入会して 26 年になりますが、クラブからガバナーを輩出いたしますのは、最大の名誉でございます。そのような皆様のご期待に応えるべく、小さなクラブで微力ですが、第 1 分区の皆様のご支援をいただきながら、ホストクラブ全会員の力を結集し取り組んでまいります。

地区役員、委員の皆様のご活躍とご支援で、「ロータリーのマジック」が実現され、大高年度が目指す「元気な一歩、共に成長するクラブの力」が達成されますようお願い申し上げます。

本日は 3 大セミナーのスタートです。実行委員会として反省改善すべき点は多々ございますが、ロータリーの友情に免じてお許しいただき、皆様にとって実り多いラーニングとなるようお祈りいたします。

2024-2025 年度 国際ロータリー第 2820 地区  
「地区チーム研修セミナー」プログラム(DTTS)

2024年3月3日(日)

会場：ホテル テラス ザ スクエア 日立

10:00~10:30	登 録		
10:30~11:00 (30分)	開会本会議 点 鐘 開会のことば 国歌ならびにロータリーソング 歓迎のことば 諮問委員紹介	司 会 ガバナーエレクト 実行委員長	滝 徳宗 (高萩) 大高 司郎 (高萩) 江尻 寛 (高萩)
11:00~11:30	RIテーマと次年度地区方針発表	ホストクラブ会長 ガバナーエレクト	小谷松政紀 (高萩) 大高 司郎 (高萩)
11:30~11:40	地区チーム研修セミナーについて	ガバナーエレクト	大高 司郎 (高萩)
11:40~11:50	地区における危機管理について	地区ラーニングファシリテーター 危機管理委員長	大野 治夫 (つくば学園) 新井 和雄 (下館)
11:50~12:00	地区における戦略計画について	戦略計画委員長	高橋 賢吾 (水戸西)
12:00~12:10	規定審議会について	規定審議会地区代表議員	高橋 賢吾 (水戸西)
12:10~12:15	諸事お知らせ	司 会	滝 徳宗 (高萩)
12:15~13:00	昼食・分科会会場へ移動		
13:00~14:40 (100分)	各委員会での分科会 (各会場)	顔合わせと今後の活動についての打合せ ・RIテーマと地区方針について ・クラブへの助力、支援について ・地区研修・協議会について ・研究会について	
14:40~15:00	休憩、本会議場へ移動		
15:00~15:10	挨 拶	ガバナー	大久保博之 (水戸)
15:10~15:50 (40分)	ガバナー補佐の方針	第1分区ガバナー補佐 第2分区ガバナー補佐 第3分区ガバナー補佐 第4分区ガバナー補佐 第5分区ガバナー補佐 第6分区ガバナー補佐 第7分区ガバナー補佐 第8分区ガバナー補佐	佐々木幸一 (日立) 大谷 昌吉 (常陸太田) 高原 裕 (水戸) 小林 隆一 (古河中央) 笠倉 勉 (しもだて紫水) 清野 宏之 (土浦南) 久保田春康 (取手) 金子 大作 (波崎)
15:50~16:50 (60分)	総括委員長の方針	クラブ奉仕総括委員長 職業奉仕総括委員長 社会奉仕総括委員長 国際奉仕総括委員長 青少年奉仕総括委員長 ローターアクト総括委員長 ロータリー財団総括委員長 米山記念奨学会総括委員長	星野 幸子 (水戸西) 安 圭一 (水戸) 關本 淳一 (土浦) 平島 隆之 (土浦) 高田 稔美 (つくば学園) 塚越 俊祐 (つくば学園) 新井 和雄 (下館) 神山 芳子 (下館)
16:50~17:00	総 評	地区ラーニングファシリテーター	大野 治夫 (つくば学園)
17:00	閉会のことば	地区会計長	石 君平 (高萩)
17:00	点 鐘	ガバナーエレクト	大高 司郎 (高萩)

# 出席者名簿

2024年3月3日(日)

会場: ホテル テラス ザ スクエア 日立

	役 職	氏 名	所属クラブ
地区 諮 問 委 員	ガバナー(2023-2024年度)・クラブ奉仕担当カウンセラー	大久保 博 之	水 戸
	地区ラーニングFT・米山記念奨学会担当カウンセラー	大 野 治 夫	つくば学園
	パストガバナー	塙 東 男	笠 間
	パストガバナー	吉 岡 昭 文	つくば学園
	パストガバナー	北 村 仁	水 海 道
	パストガバナー	片 岡 信 彦	土 浦 南
	パストガバナー	永 井 靖 彦	水 戸 東
	パストガバナー	萩 原 亢 雄	しもだて紫水
	パストガバナー	佐 藤 衛	水 戸 南
	パストガバナー	井 上 壽 博	水 戸
	パストガバナー	廣 瀬 昭 雄	土 浦
	パストガバナー	山 崎 清 司	古 河 東
	パストガバナー	野 堀 喜 作	つくば学園
	パストガバナー	長谷川 國 雄	水 戸 南
	パストガバナー	藤 居 彰 一	日 立
	パストガバナー	白 戸 仲 久	古 河 中 央
	青少年奉仕担当カウンセラー	保 延 輝 文	石 岡
	奉仕プロジェクト担当カウンセラー	高 橋 賢 吾	水 戸 西
	ローターアクト担当カウンセラー	中 村 澄 夫	東 海 那 珂
	パストガバナー	池 田 正 純	牛 久
ロータリー財団担当カウンセラー兼総括委員長	新 井 和 雄	下 館	
ガ バ ナ ー 補 佐	第1分区ガバナー補佐	佐々木 幸 一	日 立
	第2分区ガバナー補佐	大 谷 昌 吉	常 陸 太 田
	第3分区ガバナー補佐	高 原 裕	水 戸
	第4分区ガバナー補佐	小 林 隆 一	古 河 中 央
	第5分区ガバナー補佐	笠 倉 勉	しもだて紫水
	第6分区ガバナー補佐	清 野 宏 之	土 浦 南
	第7分区ガバナー補佐	久保田 春 康	取 手
	第8分区ガバナー補佐	金 子 大 作	波 崎
地 区 役 員	ガバナーエレクト(2023-2024年度)	大 高 司 郎	高 萩
	ガバナーノミニ(2023-2024年度)	瀬 戸 隆 海	水 海 道
	ガバナーノミニ・デジグネート(2023-2024年度)	藤 木 章 吉	しもだて紫水
	地区幹事	大河原 浩	高 萩
	地区幹事	青 木 正 弘	水 海 道
	地区幹事	高 原 裕	水 戸
	地区会計長	石 君 平	高 萩
	地区資金委員	倉 持 功 典	水 海 道
	地区資金委員	増 山 英 和	水 戸
	ロータリーの友地区代表委員	小 森 勇 一	高 萩
	ロータリーの友委員	北 村 英 明	水 海 道
	財団監査委員	平 島 泰 裕	つくば学園
	財団監査委員	小 野 智 久	日 立
	RLI委員長	高 貫 修	水 戸
	地区戦略計画委員	柿 沼 利 明	古 河 東
	地区戦略計画委員	長 野 久 嗣	水 戸
	地区立法法案検討会委員	土 田 次 郎	古 河 中 央
地区立法法案検討会委員	片 岡 宗 厳	水 戸	
ホ ス ト ク ラ ブ	実行委員長	江 尻 寛	高 萩
	ホストクラブ会長	小谷松 政 紀	高 萩
	ホストクラブ幹事	平 野 浩 司	高 萩



<b>ク ラ ブ 奉 仕</b>	総括委員長：星 野 幸 子 (水 戸 西)		
会 員 増 強	○吉 岡 隆 久 (つくば学園)	井 上 誠 (下 妻)	篠 田 吉 孝 (水 戸)
	熊 木 善 一 (古 河)	石 井 浩 一 (水 戸 南)	
ク ラ ブ サ ポ ー ト	○人 見 光 一 (水 戸 南)	和 泉 好 一 (土 浦 南)	鈴 木 敏 雄 (古 河)
公 共 イ メ ー ジ ・ I C T 推 進	○鈴 木 茂 美 (日 立)	林 正 太 郎 (水 戸)	滝 徳 宗 (高 萩)
	秋 山 順 弘 (高 萩)	松 野 祐 介 (水 戸 さくら)	山 崎 哲 男 (水 海 道)
<b>奉 仕 プ ロ ジ ェ ク ト</b>			
<b>職 業 奉 仕</b>	総括委員長：安 圭 一 (水 戸)		
職 業 奉 仕	八 文 字 典 昭 (水 戸)	柳 下 文 江 (水 戸 東)	沖 山 哲 夫 (つくば学園)
	遠 藤 榮 治 (守 谷)	山 崎 英 策 (鉾 田)	
<b>社 会 奉 仕</b>	総括委員長：關 本 淳 一 (土 浦)		
研 究 会 担 当	高 野 勝 憲 (つくば学園)		
地 区 補 助 金 担 当	平 島 泰 裕 (つくば学園)	根 本 ひろ美 (水 戸 東)	
奉 仕 事 業 担 当	菅 野 し の ぶ (北 茨 城)		
<b>国 際 奉 仕</b>	総括委員長：平 島 隆 之 (土 浦)		
WCS・グローバル補助金担当	松 本 幸 子 (古 河 東)		
国 際 交 流 奨 学 金 担 当	松 本 幸 子 (古 河 東)		
国 際 交 流 共 同	タ イ 担 当	橋 本 哲 (水 戸 南)	
	ネ パ ー ル 担 当	中 島 賢 一 (土 浦)	
	フ ィ リ ピ ン 担 当	中 村 康 博 (牛 久)	
<b>青 少 年 奉 仕</b>	総括委員長：高 田 稔 美 (つくば学園)		
イ ン タ ー ア ク ト	○太 田 秀 夫 (日 立 港)	石 井 秀 明 (東 海 那 珂)	埜 主 税 (水 戸 西)
	山 西 裕 (水 戸)	柴 沼 博 之 (土 浦 南)	野 口 均 (しもだて紫水)
青 少 年 並 び に ラ イ ラ	○今 川 武 彦 (つくば学園)	渡 部 俊 介 (石 岡 8 7)	内 田 敬 子 (鹿 島 中 央)
青 少 年 交 換	○軽 部 守 彦 (下 妻)	桑 は ら 智 恵 子 (水 戸 西)	瀬 戸 口 進 (つくば学園)
	瀬 戸 隆 海 (水 海 道)		
<b>ロ ー タ ー ア ク ト</b>	総括委員長：塚 越 俊 祐 (つくば学園)		
ロ ー タ ー ア ク ト	横 須 賀 靖 (水 戸)	有 金 重 幸 (日 立 中 央)	楠 英 夫 (土 浦 南)
	皆 葉 真 治 (つくば学園)	杉 山 吉 彦 (下 館 さくら RSC)	池 田 遼 太 (下 館 さくら RSC)
	原 悠 樹 (茨 城 県 北 RAC)		
<b>ロ ー タ リ ー 財 団</b>	総括委員長：新 井 和 雄 (下 館)		
ポ リ オ プ ラ ス	○七 野 悟 (つくばシティ)	関 康 彦 (水 戸)	鷺 谷 一 彦 (しもだて紫水)
資 金 管 理 ・ 推 進	○秋 葉 良 孝 (水 戸)	関 康 彦 (水 戸)	八 木 健 二 (日 立)
	川 村 昌 弘 (日 立 南)		
補 助 金	○菊 池 泰 正 (土 浦)		
地 区 補 助 金 担 当	○菊 池 泰 正 (土 浦)		
申 請 担 当	椿 眞 里 (北 茨 城)		
申 請 補 担 当	清 藤 豊 (水 戸 東)		
グ ロ ー バ ル 補 助 金 担 当	○雨 宮 淳 (つくばサライズ)		
人 道 支 援 担 当	中 野 勝 (つくば学園)		
奨 学 金 ・ 学 友 担 当	田 上 悟 史 (水 戸 西)		
V T T 担 当	岡 村 太 郎 (水 戸 南)		
ロ ー タ リ ー 平 和 フ ェ ロ ー シ ッ プ	○齋 藤 章 (結 城)		
ロ ー タ リ ー カ ー ド 推 進	○端 敦 宣 (下 妻)		
<b>米 山 記 念 奨 学 会</b>	総括委員長：神 山 芳 子 (下 館)		
米 山 寄 付 増 進	○草 野 朋 子 (常 陸 太 田)	江 田 治 雄 (下 妻)	齋 藤 百 合 子 (古 河)
米 山 学 友	○村 上 義 孝 (つくば学園)	岩 田 光 造 (水 戸 東)	佐 谷 道 浩 (古 河 東)
米 山 選 考	○白 岩 大 樹 (牛 久)	中 村 武 彦 (境)	中 山 眞 矢 (水 戸 西)
	藤 澤 昭 彦 (土 浦)		





クラブ奉仕担当カウンセラー 大久保 博之(水戸)	奉仕P担当カウンセラー 高橋 賢吾(水戸西)	青少年奉仕担当カウンセラー 保延 輝文(石岡)	ローターアクト担当カウンセラー 中村 澄夫(東海那珂)	ロータリー財団担当カウンセラー 新井 和雄(下館)	米山記念奨学会担当カウンセラー 大野 治夫(つくば学園)
<b>クラブ奉仕</b> 総括委員長 ◎星野 幸子 (水戸西) 会員増強 ○吉岡 隆久 (つくば学園) 井上 誠 (下妻) 篠田 吉孝 (水戸) 熊木 善一 (古河) 石井 浩一 (水戸南)	<b>職業奉仕</b> 総括委員長 ◎安 圭一 (水戸) 八文字 典昭 (水戸) 柳下 文江 (水戸東) 沖山 哲夫 (つくば学園) 遠藤 榮治 (守谷) 山崎 英策 (鉾田) <b>社会奉仕</b> 総括委員長 ◎關本 淳一 (土浦) 研究会担当 高野 勝憲 (つくば学園) 地区補助金担当 平島 泰裕 (つくば学園) 根本 ひろ美 (水戸東) 奉仕事業担当 菅野 しのぶ (北茨城) <b>国際奉仕</b> 総括委員長 ◎平島 隆之 (土浦) WCS・グローバル補助金担当 国際交流奨学金担当 松本 幸子 (古河東) 国際交流共同担当 タイ担当 橋本 哲 (水戸南) ネパール担当 中島 賢一 (土浦) フィリピン担当 中村 康博 (牛久)	<b>青少年奉仕</b> 総括委員長 ◎高田 稔美 (つくば学園) インターアクト ○太田 秀夫 (日立港) 石井 秀明 (東海那珂) 塙 主税 (水戸西) 山西 裕 (水戸) 柴沼 博之 (土浦南) 野口 均 (しもだて紫水) <b>青少年並びにライラ</b> ○今川 武彦 (つくば学園) 渡部 俊介 (石岡87) 内田 敬子 (鹿島中央) <b>青少年交換</b> ○軽部 守彦 (下妻) 桑はら 智恵子 (水戸西) 瀬戸口 進 (つくば学園) 瀬戸 隆海 (水海道)	<b>ローターアクト</b> 総括委員長 ◎塚越 俊祐 (つくば学園) 横須賀 靖 (水戸) 有金 重幸 (日立中央) 楠 英夫 (土浦南) 皆葉 真治 (つくば学園) 杉山 吉彦 (下館さくらRSC) 池田 遼太 (下館さくらRSC) 原 悠樹 (茨城県北RAC)	<b>ロータリー財団</b> 総括委員長 ◎新井 和雄 (下館) ポリオプラス ○七野 悟 (つくばシティ) 関 康彦 (水戸) 鷺谷 一彦 (しもだて紫水) 資金管理・推進 ○秋葉 良孝 (水戸) 関 康彦 (水戸) 八木 健二 (日立) 川村 昌弘 (日立南) <b>補助金</b> ○菊池 泰正 (土浦) 地区補助金担当 ○菊池 泰正 (土浦) 申請 椿 眞里 (北茨城) 申請補 清藤 豊 (水戸東) グローバル補助金担当 ○雨宮 淳 (つくばサンライズ) 人道支援 中野 勝 (つくば学園) 奨学金・学友 田上 悟史 (水戸西) VTT担当 岡村 太郎 (水戸南) ロータリー平和フェローシップ ○齋藤 章 (結城) ロータリーカード推進 ○端 敦宣 (下妻)	<b>米山記念奨学会</b> 総括委員長 ◎神山 芳子 (下館) 米山寄付増進 ○草野 朋子 (常陸太田) 江田 治雄 (下妻) 齋藤 百合子 (古河) 米山学友 ○村上 義孝 (つくば学園) 岩田 光造 (水戸東) 佐谷 道浩 (古河東) 米山選考 ○白岩 大樹 (牛久) 中村 武彦 (境) 中山 眞矢 (水戸西) 藤澤 昭彦 (土浦)

◎総括委員長  
○委員長



A series of horizontal lines for writing, consisting of 25 evenly spaced lines across the page.



## 地区チーム研修セミナー出席報告

ご芳名

*Name*

---

所属クラブ

*Home club*

RC

---

職業分類

*Classification*

---

地区チーム研修セミナーにご参加下さいまして有り難うございました。

2024年3月3日(日)

於 ホテル テラス ザ スクエア 日立

国際ロータリー第2820地区

地区幹事 大河原 浩



**END  
POLIO  
NOW**

**世界ポリオデー2820**  
～ポリオのない世界まであと少し～

国際ロータリー第2820地区  
ガバナー事務所

〒317-0062 茨城県日立市平和町1-1-14

TEL: 0294-59-3113

FAX: 0294-59-3114

E-mail: 24-25@rid2820.jp

